



今回は、のみぐすりの剤形についてのお話です。

お薬には、いろいろな形（剤形）のものがあります。



薬の安定性や飲みやすさ、効き目や副作用などを考えて作られています。

お薬の周りをコーティングして、味が苦いものは飲みやすくしたり、そのままだと湿気を吸いやすいものは保管しやすくしたりしています。

☆お薬の中には、飲みにくいからといって自分の判断で砕いたり、カプセルを外すと、効果が弱くなったり、副作用がでるものもあり、注意が必要です！

のみぐすりの剤形には主に次のようなものがあります。

錠剤

素錠：粉を圧縮して固めたもの。

糖衣錠：表面を糖分でコートしている。

フィルムコーティング錠：表面を薄いフィルムで包んでいる。

腸溶錠：胃では溶けずに腸で溶けて効果を発揮する。

徐放錠：ゆっくり溶けて長く効く。

口腔内崩壊錠：唾液で溶けて飲みやすい。

チュアブル錠：噛み砕いて飲む。

カプセル

硬カプセル：中は粉状です。

溶ける速さの違う粉を混ぜて入れているものもあります。

軟カプセル：中は液体です。

散剤・顆粒剤

散剤：粉末状です。

顆粒剤：顆粒状です。ゆっくり溶けて効果が持続するものもあります。

ドライシロップ：味や香りをつけて飲みやすくしています。

水に溶かして飲むことができるものもあります。



液剤・シロップ剤

液剤：お薬の成分を水などで溶かしています。

シロップ剤：甘味料などを加えて飲みやすくしています。

☆お薬が飲みにくいときは、かかりつけの医師または薬剤師に相談して、自分にあった剤形を選びましょう。

